



東横野小学校



図書だより

2025.1月 No.7

【図書室の中のお話・1】

今年度はとても図書室内がにぎやかです。



12月から1月上旬は、4年生が国語の学習に使ったセレクト詩画集をかざらせてもらいました。2024年に亡くなった星野富弘さんと谷川俊太郎さんの作品から好きな詩を選び、絵をつけたものです。

星野さんの詩画集から選んだ場合、作品と同じ花でも、詩から連想しての画像でもよかったようです。一方の谷川さんは、音の響きやくりかえしが楽しい詩、意味の深い詩などが選ばれていました。限られたスペースにおさめるにはかなり四苦八苦したようですが、有名な(でも長い)「20億光年の孤独」を選んだ人が何人もいたことに感動しました。(〇〇先生も「20億光年～」はとても好きでした。)

紙面の関係で大きくお見せできないのが残念ですが、カラフルな花々や絵、すてきなレイアウトの詩に囲まれて、とても癒やされました。

そして、現在は、冬休みに描いてもらった読書感想画を掲示中です。

課題図書をもとに3作品、自由図書をもとに2作品が集まりました。ただ1年生が3人（うち1人は2作品）、3年生が1人だけの参加だったのは少し残念でした。授業でもとてもすてきな読書感想画を描いてきたみなさんなので、来年度はもっと多くの作品を見せてくれるとうれしいです。

上段が課題図書、下段が自由図書です。『もとなった本の題名』、絵を描いた人の学年と名前です。

上段左から ■『こっちへおいでよ、ちびトラ』 1年 ○○○○○○

■『まほうのアブラカタブレット』 1年 ○○○○○○/ 1年 ○○○○

下段左から ■『みかん』 1年 ○○○○○○ ■『じゅげむの夏』 3年 ○○○○



同じ本を選んだとしても、どの場面をピックアップするかによってまったく違う絵になるところが読書感想画のおもしろいところだと思います。



感想画に使われた本のうち、図書室にある本については、かざってある絵の近くにあります。みなさんも読んでみてください。

【図書室の中のお話・2】

4年生は本のPOPづくりにも積極的にとりこんでくれます。二学期のはじめにも同じようにPOPを作ってくれましたが、やはり回数を重ねるごとにレベルも上がっています。あらすじのまとめ方や重要アイテムの見せ方など、格段にうまくなりました。その広告効果もあり、POPつきの本のコーナーはいろいろな学年に、本当によく読まれています。貸出数アップに協力してくれてありがとうございます。



【図書室の中のお話・3】



令和7年の最初のイベントは、「図書室の中で10匹きのへびをさがせるかな？」です。イラスト、折り紙、ぬいぐるみやへびの出ってくる本など、いろいろなものがありました。全部見つかりましたか。1年生から6年生まで、学年関係なく挑戦してくれてうれしいです。

ちなみに、右の絵（カラーのほう）がはってある棚、そこがへびやトカゲなど、はちゆうるいの本が置いてある場所です。生き物としてのへびの本が見たくなったらこの場所をのぞいてみてください。

今回はいろいろなものが力作ぞろいでした。新刊案内は2月号でまとめてお知らせします。